岸和田高校の行事

行事の時期

2002 年度から完全週休二日制になり、その影響を受けている行事がある。 なお 2019 年度以降については触れない。

遠足(春)

5月に実施。現在は1年生:信貴山のどか村でのバーベキューやレクリエーションによる学年交流、2年生:京都散策、3年生:各クラスで行き先を決めてクラス交流となっている。2008~12年にかけては、1年生は宿泊交流となっていた。

岸高祭

文化祭と体育祭に分かれ、文化祭は6月の金曜日午後に開会式を行い、続く土日に丸 2日連続で行われる。体育祭は9月の平日1日を使って行われる。

岸高の行事の中でも一番の人気を誇るであろう行事で、文化祭には2日で3500人以上(2013年度、校長ブログより)が来場する。

かつては文化祭・体育祭ともに9月に3日連続で行われていたが、2006年度に文化祭が9月、体育祭が6月に分割された。さらに2007年度からは文化祭を6月、体育祭を9月に開催するようになっている。

芸術鑑賞会

1998 年度から 2006 年度までは 6 月だったが、2007 年度は 10 月、2008 年度から は 8 月末・9 月初めに行われている。ジャンルは音楽→演劇→伝統芸能のローテーションである。

修学旅行

2年生対象。2004年度以降、10月中旬に行われていて、2009年以降の行き先は台湾となっている。少なくとも近年は現地の学校との交流がプログラムに組み込まれることが多い。

クラスマッチ

2001 年度までは 1·2 年生は 7 月と 12 月、3 年生は 8 月末に行われていたが、2002年は完全週休二日制の施行により年 1 回、さらに 2003 年以降は 1 年生の 12 月と 3 年

生の 7 月のみ(2 年生は修学旅行があるため)となった。熱中症予防のため、2009 年度の移行措置($1\cdot 2$ 年生は 12 月、3 年生は 7 月)を経て 2010 年度以降は $1\cdot 2$ 年生の 12 月に開催されている。

合唱コンクール

1997 年度以降、1・2 年生の 1 月または 2 月に行われていたが、学級閉鎖により参加できないクラスが毎年のようにあったため、2018 年度より 11 月に行うこととなった。

遠足(冬)

1・2 年生対象。鍛錬遠足の代替として 2018 年度から導入された 1 月の遠足。初年度の行き先は「おおさか ATC グリーンエコプラザ」であった。

(https://ecoplaza.exblog.jp/30075398/)

2019年度については不明である。

桜祭り

郷土資料室・岸高の歴史館が完成した 2007 年 3 月に、展示品を一般に開放するためとして第 1 回 (3 月 31 日) が開催され、その後毎年行われている。2012 年に時期を 4 月初旬に移した。なおその理由については、同年 2 月 29 日の校長ブログに「3 月末実施を 4 月上旬にし、少しでも桜を愛でることができるようにしましたが(後略)」とある。

近年では展示品の公開が行われず、クラブ活動の発表が主な目的となっている。

その他

地学実習、受験生応援プロジェクトといった行事が存在します。

廃止された行事

多分把握できていないものが多数存在します。

一斉に行うスポーツテスト

2003年の時点では5月6日(女子)・7日(男子)に実施。8日が予備日だった。現在は体育の授業中に個別に行われている。

休日としての学校創立記念日

大阪府第六尋常中学校が仮校舎で授業を開始したのが 1897 年 5 月 17 日であるため、5 月 17 日が創立記念日となっている。2007 年までは休日であったが、2008・2009 年(土日のため元々休日)を挟み 2010 年より通常授業日となっている。

七タコンサート・アトラクションコンサート・クリスマスコンサート

いずれも自治会主催のライブコンサート。それぞれ 1 学期終業式 (7 月)・岸高祭開会式の日 (9 月)・12 月に行われていた。また、在校生のほかに、卒業生・家族の見学も認められていた (2001 年度七夕コンサートで確認) が、2002 年は東館改装のため在校生のみとなった。

それぞれ 2002 年 7 月 19 日、1999 年 9 月 24 日、1999 年 12 月 24 日が最後の開催となった。

討論分科会・公開講座分科会(討公)

正確には岸高祭の内容の一部だが、便宜上ここに記載する。

1973年に開始された、岸高祭で開会式と同じ日に行われていたもの。生徒や先生が、いろいろな物事について講義・討論するというものだと思われる。

講義者の不足により中止となることがたびたびあった。それでも 2003~06 年には 4 年連続で実施されていたものの、「当初の理念から外れている」との批判があった。一方で「少人数で岸高祭当日には展示できないクラブが参加できる」という賛成意見もあった。2007 年に廃止された(理由は不明)。

人権行事

1年に一度行われていた。2006年6月23日が最後と思われる。

スキー講習会

2002年3月23~27日が最後の開催。

社会科研修旅行

1969年より開始。1997年以降1泊2日となり、2005年7月22~23日が最後となった。

鍛錬遠足

2017年度まで、1・2年生の11月に行われた。2016・17年は金剛山への登山(雨天などにより不可能な場合は博物館見学)を行っていた。2018年度以降は前述した冬の遠足に置き換えられた。

3年生学年末考査

2005年度まで1月末に行われていた。

資料

合唱コンクール

1998・99 年は、自由曲 1 曲 (5 分以内) を各クラス 1 名 (10 点) +先生 5 名 (20 点) が審査する。

(審査項目は入退場態度、声の大きさ、音程、ハーモニー、指揮)。

各クラス・有志団体につき1名代表責任者を選出。

伴奏はピアノ、他は文化委員の許可が必要。

放課後の練習は土曜日・リハーサルの日以外は禁止(クラブとの兼ね合い)

賞については1位から最優秀賞、優秀賞、敢闘賞とし、他に特別賞、指揮者賞を贈っている。

有志は5分以内、3グループ以内。

2000年の変更点は、音楽選択生の合唱(1・2年生別)を追加(批判多し)

審査する先生は各学年につき6人ずつ。

特別賞は各審査員がパフォーマンス的なもので特に注目される 1 クラスを選ぶ (なくてもよい)。

合唱の妨げにならない範囲で振り付けがあってもよい。

放課後の練習は完全禁止(クラブとの兼ね合い)

有志団体は市民会館での開催となったため学年混合も可。制服着用。

クラスの紹介を追加。1→2年生の合間に座席移動を実施。

2001年は、音楽クラスは有志として参加、以外は同じ

2002年は、3グループをめどとし、実際は5団体出場。

2003 年は、教員 3 名、審査基準に鑑賞の態度を追加、有志合唱はなし。

2004年は、各学年2団体まで有志参加あり。(1団体8~40人)

2012年は、1~3位は称号(最優秀賞など)無し、指揮者賞、伴奏者賞あり、美術・書道クラスからの特別賞あり(1~3位がすべて音楽選択クラスの場合のみ)

審査員は各クラス1名・教員2名・音楽科教員1名(得点2倍)がハーモニー・バランス、姿勢・態度、音程、表現、伴奏を5段階で審査。伴奏者賞・指揮者賞は伴奏点・指揮点で決定。

有志団体は各学年30分、超える場合は抽選。

練習は早朝・昼休み・HR のみ、早朝は蛸地蔵側の門を閉める。